

## 人と自然が共存できる里山回復を目指した活動

### 枯れ木残らず花が咲く

日本列島は22日、本州の南岸付近を低気圧が発達しながら通過した影響で気温は下がり、午前中から本格的に雪が降り出した。降り始めた雪は見る見る、屋根や道路を白く覆い、しんと降り続いた雪で夜半には積雪30センチを超えた。

翌朝は雲ひとつない青空が広がり、居てもたってもいられず身支度して活動拠点に向かうと、雑木林の吹き溜まりは膝上までの深雪、その林内で落下物や動物の足跡を探し歩き、陽だまりから高木を見上げれば枝先に積もった雪は日差しにキラキラと輝き、枯れ木に残らず花が咲いたような美しい景色に出会えた。

低木は、落下した雪と積もった雪の重みで幹が弓なりに撓み、その枝先には小さな冬芽が寒さを防ぐ工夫をして、春の準備を整えている冬芽が観察できる。



枝先に積もった雪の花



横顔に見える自然の造形物

### キツネノカミソリが発芽

最も寒さが厳しくなる大寒を迎えました。今年は厳しい寒さのなかで、落葉した林内の陽が差し込む場所に早くもキツネノカミソリが発芽を始めました。

キツネノカミソリは周辺に他の草が生えないうちに、細長い葉を球根から出して、開花に必要な水分や栄養を球根に蓄えて、多くの植物が生い茂る頃に葉を枯らし、初夏には花茎を伸ばし7月中旬に開花します。



キツネノカミソリ発芽



7月末の満開期

### ノウサギの存在

ノウサギが生息していることは糞や食痕などで確認できる。雪が降ると雪面に鮮明に足跡や小さな球形の糞が見つけれ、その存在が明らかになります。



ノウサギの糞